

岩手県感染症週報

平成17年第21週（5月23日～5月29日）

岩手県結核 感染症情報センター

第21週の概要

- 1 類感染症
- 2 類感染症
- 3 類感染症
- 4 類感染症

患者発生の報告はありませんでした。

5 類感染症（全数把握対象疾患）

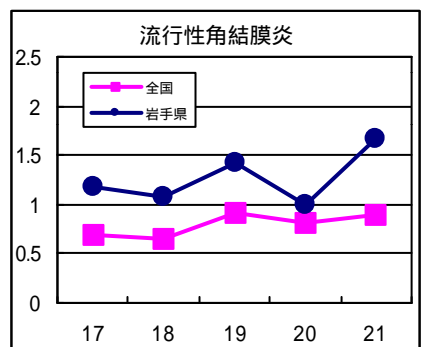
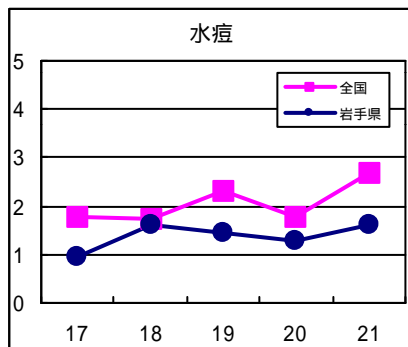
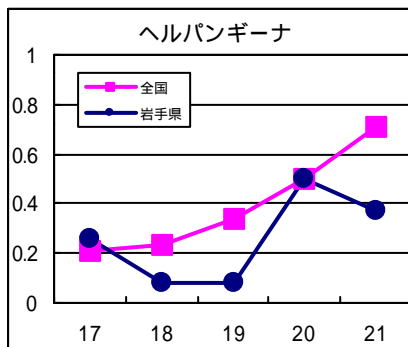
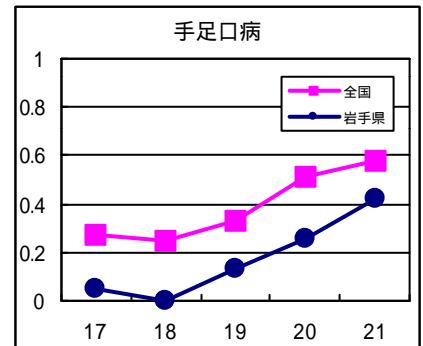
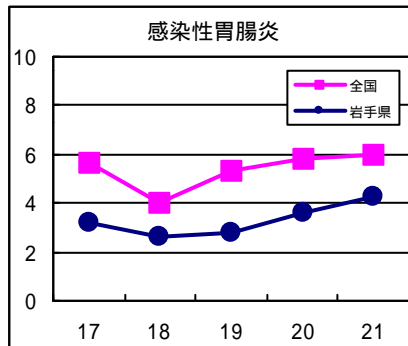
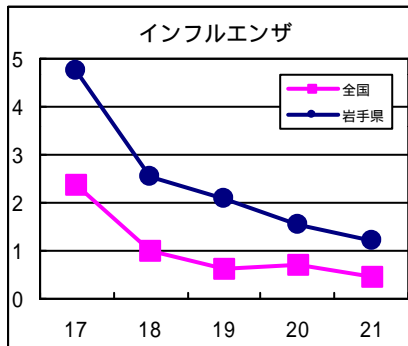
・クロイツフェルト・ヤコブ病の報告が1例ありました。患者は60代男性で、弧発性の発症です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は水沢地区でこの週も患者が多い状態が続いています。盛岡地区でも患者が増加し、県内では例年に比べ患者が多くなっています。また一関地区の小学校ではノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生がありました。この疾患は冬季はウイルス性、夏季は細菌性が多く、症状は原因となるウイルスや細菌により異なりますが、一般に発熱、下痢、腹痛、嘔吐等を呈します。感染の予防には、十分な手洗いと汚物処理時の消毒の徹底が必要です。特に、学校、幼稚園や福祉施設などでは集団発生が起こりやすいので、注意が必要です。
- ・水痘（水ぼうそう）は久慈地区で再び患者が増加しました。久慈地区では前週に一度減少しましたが、前々週まで患者が多い状態が続いていました。この疾患は例年6月～7月にかけて患者が増加する傾向があり、引き続き今後の患者の動向に注意が必要です。
- ・手足口病は盛岡地区で患者が増加しています。この疾患は、例年これから夏にかけて患者が増加します。
- ・流行性角結膜炎が、盛岡地区で再び増加しました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		17	18	19	20	21		
インフルエンザ	岩手県	4.76	2.53	2.1	1.53	1.19	↘	
	全国	2.38	1.02	0.64	0.69	0.46		
咽頭結膜熱	岩手県	0.08	0.08	0.13	0.08	0.05	→	
	全国	0.24	0.22	0.27	0.31	0.42		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.76	0.21	0.55	0.74	0.71	→	
	全国	1.41	0.96	1.5	1.91	1.85		
感染性胃腸炎	岩手県	3.18	2.61	2.76	3.63	4.26	↗	
	全国	5.68	4.05	5.32	5.81	6.02		
水痘	岩手県	0.97	1.63	1.45	1.29	1.61	→	
	全国	1.77	1.74	2.32	1.76	2.68		
手足口病	岩手県	0.05	0	0.13	0.26	0.42	↗	
	全国	0.27	0.25	0.33	0.51	0.58		
伝染性紅斑	岩手県	0.29	0.34	0.05	0.13	0.13	→	
	全国	0.29	0.19	0.26	0.42	0.4		
突発性発疹	岩手県	0.42	0.5	0.37	0.34	0.55	→	
	全国	0.66	0.52	0.67	0.73	0.76		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.26	0.08	0.08	0.5	0.37	→	
	全国	0.21	0.23	0.34	0.5	0.71		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0	0	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.55	0.39	0.39	0.47	0.24	→	
	全国	0.9	0.98	1.19	1.1	1.09		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0.08	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.03	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.17	1.08	1.42	1	1.67	→	
	全国	0.69	0.66	0.92	0.82	0.9		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	24	29	33				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.03	0.01	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.7	0.1	0.4	0.4	0.5	→	
	全国	0.28	0.15	0.28	0.28	0.24		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
- ：患者が発生しています
- ↗：警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 17	18	19	20	21	累計	21	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	22	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	9	227	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	22	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	5	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	1	46	385	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	7	263	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	9	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	24	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	2	1	115	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	1	2	0	51	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	1	27	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	13	399	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	21	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	3	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	1	0	0	13	59	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	12	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	2	4	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	1	11	196	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	31	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	30	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	25	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	4	50	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

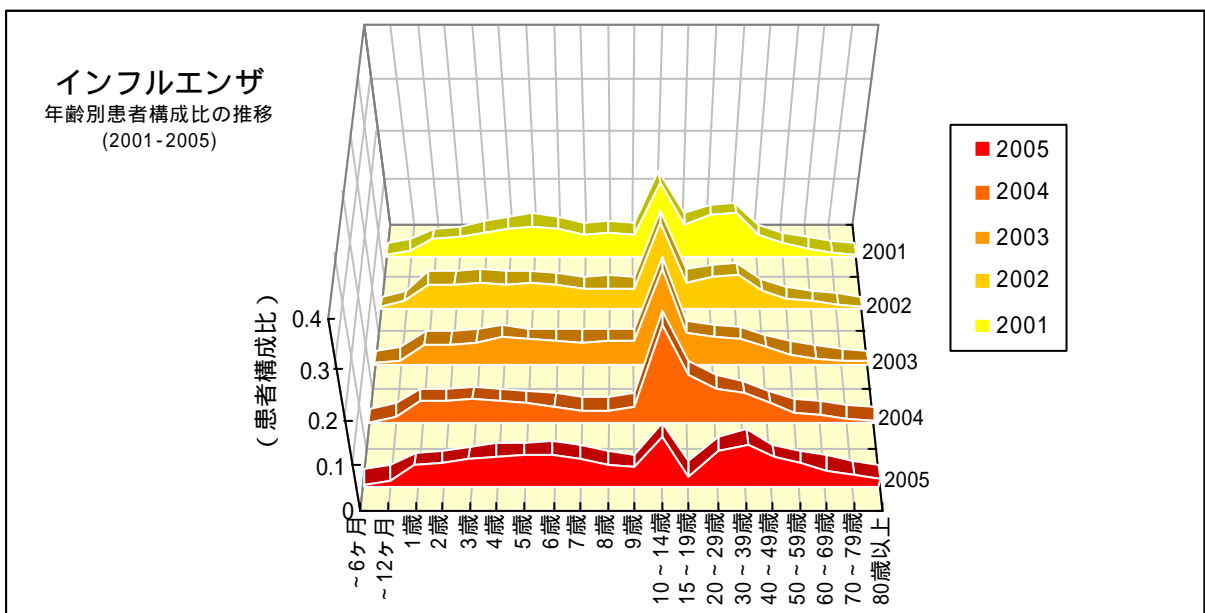
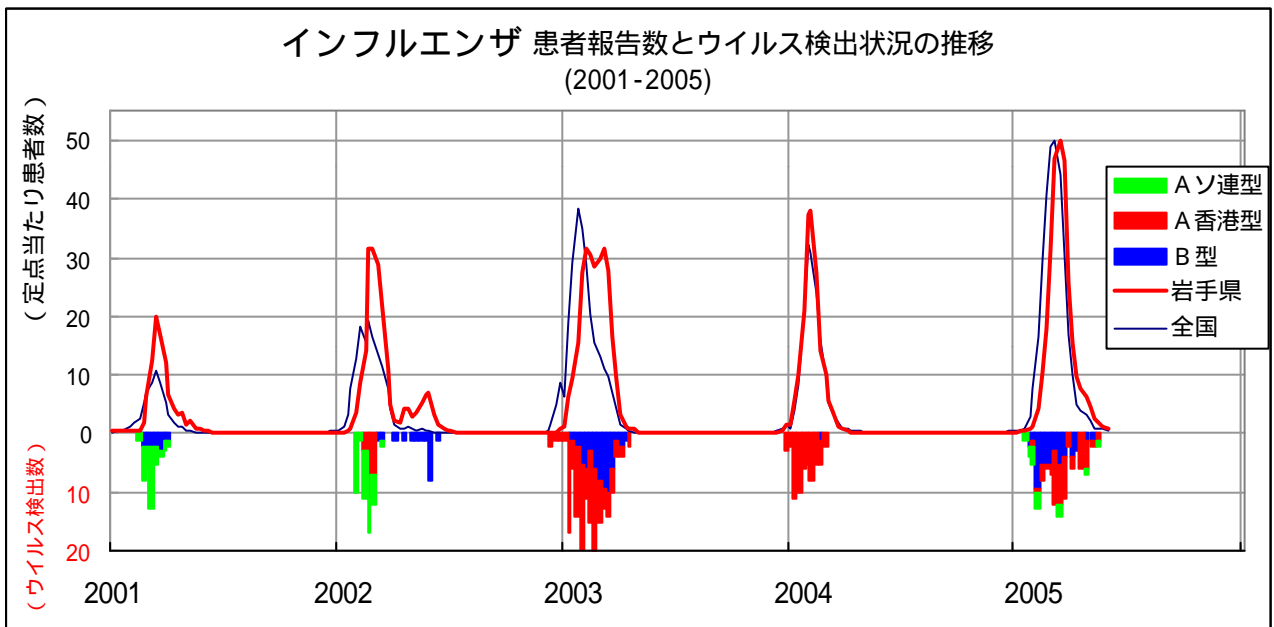
今注目の感染症

インフルエンザ（2004 - 2005シーズン）の概要

- ・第5週（1/31-2/6）から患者数が増え始め、第10週（3/7-3/13）が流行のピークでした。例年より約2週ほど遅れて流行が始まり、5月にはいっても一部地域では患者発生が続きました。患者報告数は過去5年間で最も多くなっています。
- ・例年とは患者の年齢層パターンが異なっています。
 - 例年と比べて3～7歳及び30歳代の患者が多い
 - 50歳代以上の患者は例年の2倍以上
 - 10～14歳の患者は例年の約半数程度
- ・AH1, AH3, Bの3タイプのウイルスが同時に流行しました。流行株のHA抗原は今シーズンのワクチン株に類似しています。

環境保健研究センターが分離したウイルス株（5/20まで）

Aソ連型：11株 A香港型：52株 B型：40株



病原体検出情報

- ・感染性胃腸炎の便から、A群ロタウイルスを1例、アデノウイルス5型を1例検出しました。
- ・流行性角結膜炎の結膜拭い液から、アデノウイルス37型を2例検出しました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関から

- ・インフルエンザA型を検出した。
- ・アタマジラミを2人診断した。

集団感染情報

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生

1 発生場所

一関保健所管内の小学校

2 発生状況

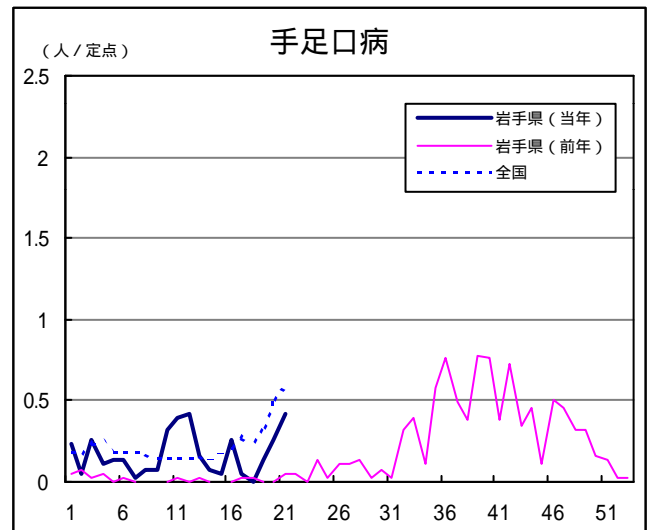
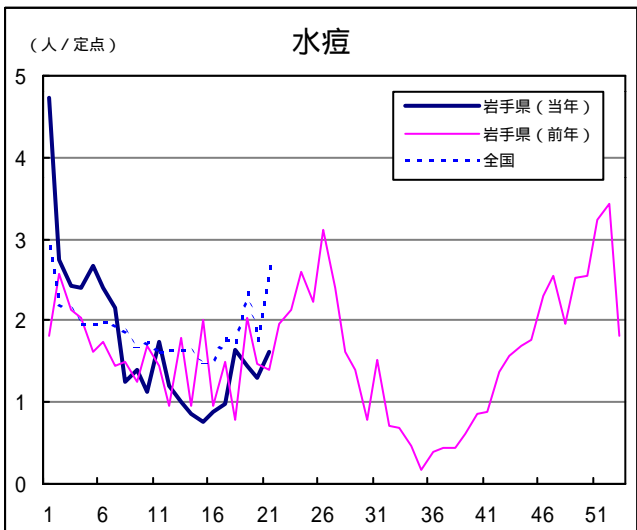
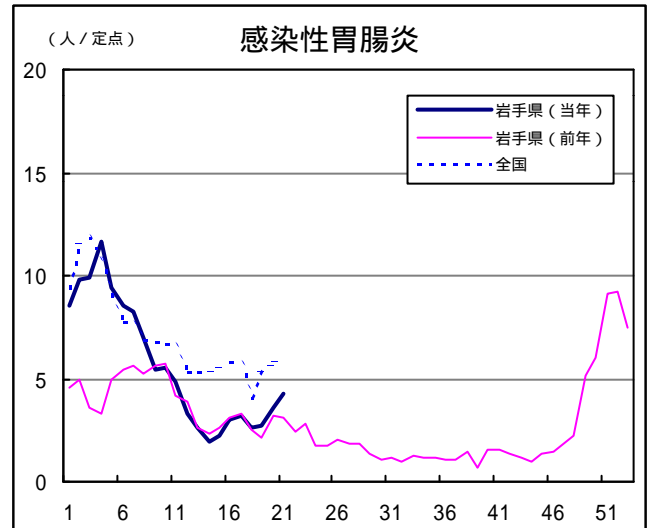
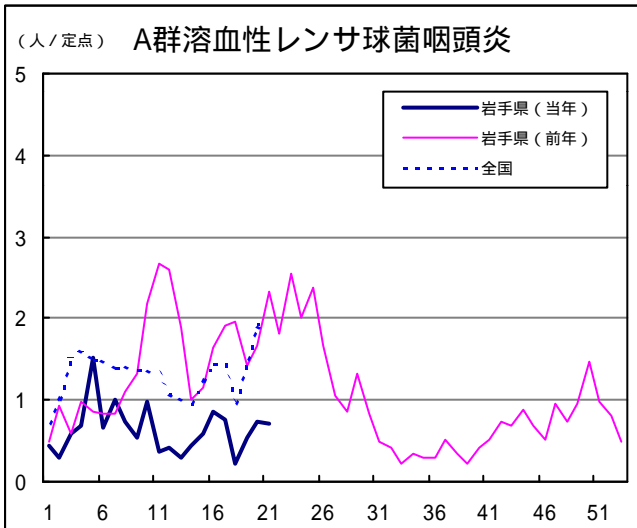
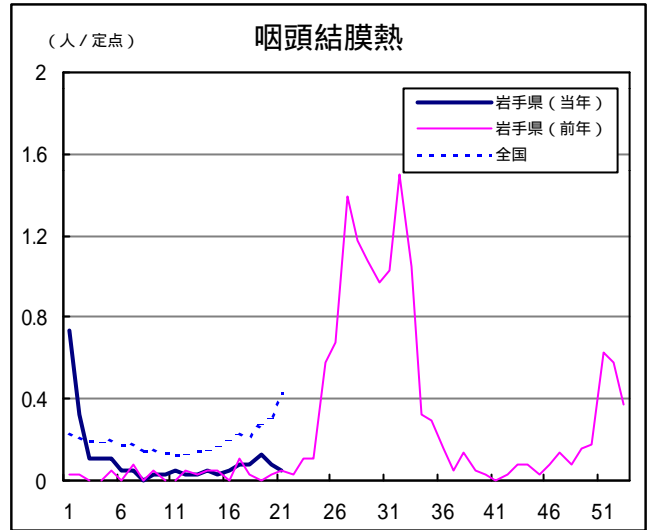
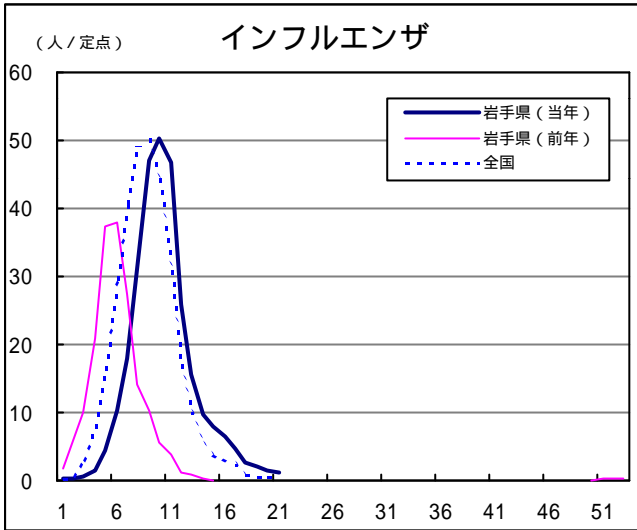
一関保健所管内の小学校で感染性胃腸炎の疑いのある症状を訴える者の集団発生と思われる情報があったことから、一関保健所が5月26日に調査を実施したところ、小学校の児童20数名に症状（嘔吐、下痢等）が認められた。環境保健研究センターにて病原体検査を5月27日に実施したところ「ノロウイルス」が検出された。5月30日現在、46名が発症しているが、いずれもほぼ回復している。

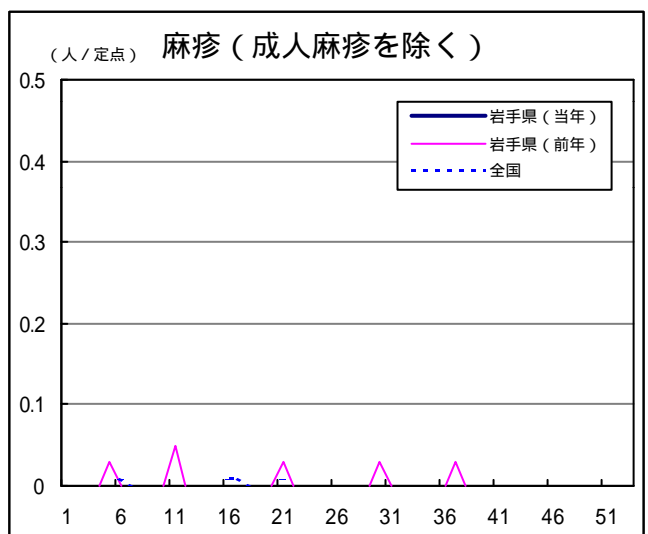
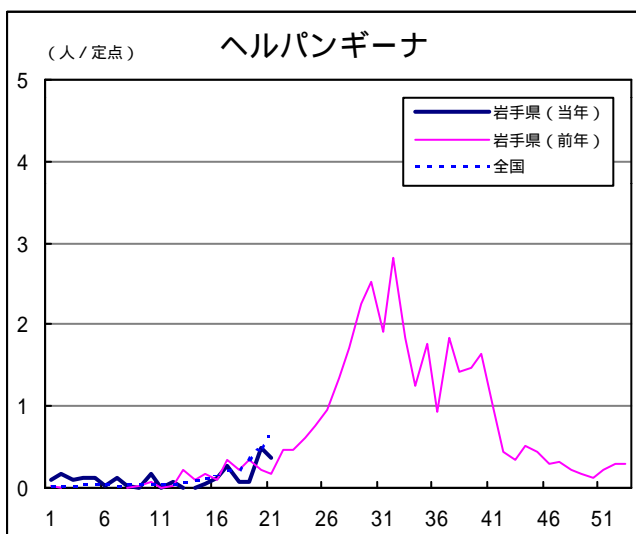
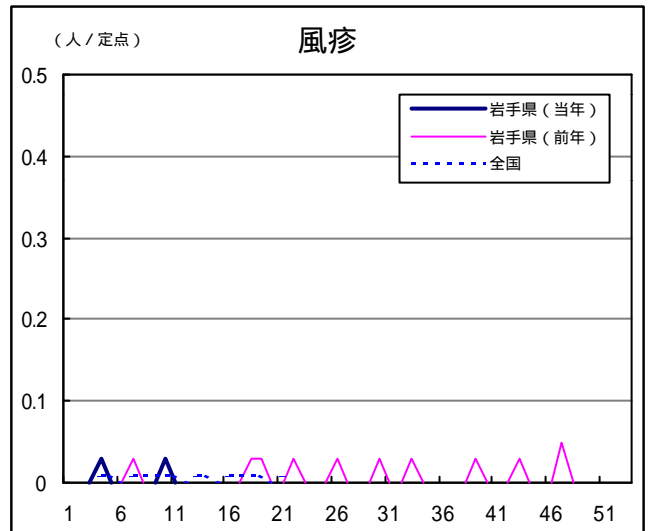
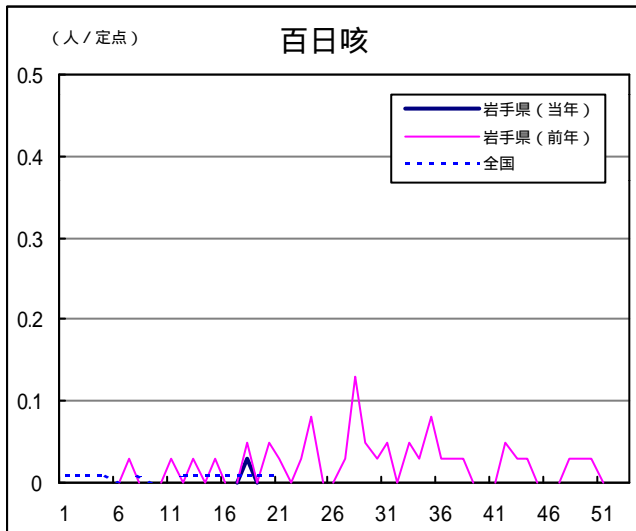
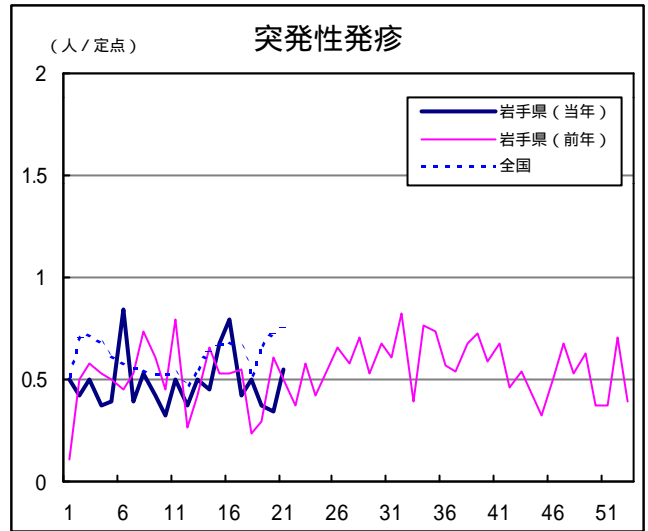
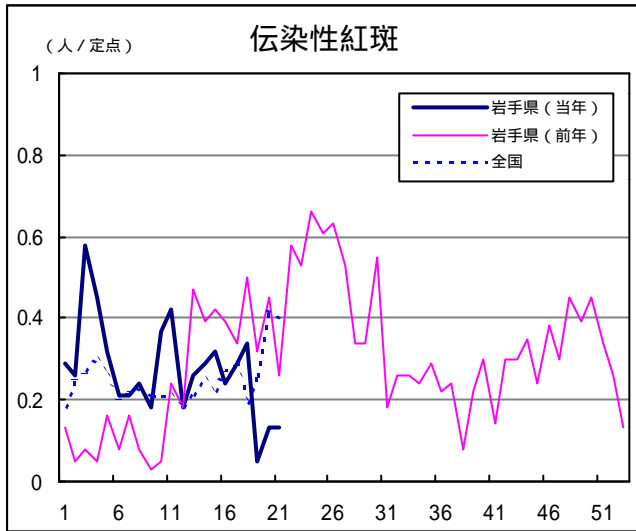
Q & A

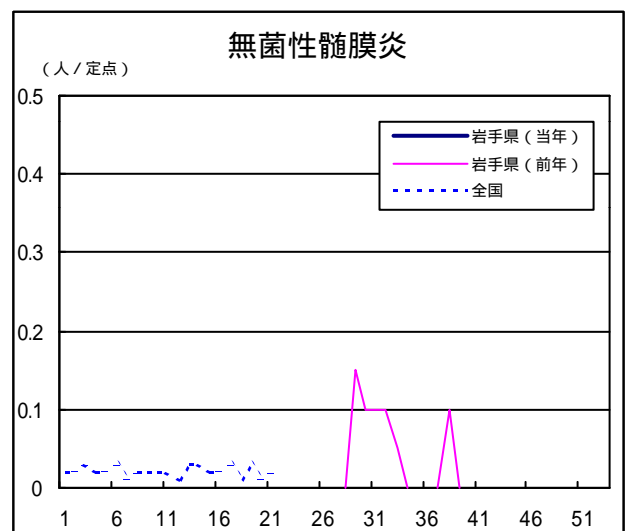
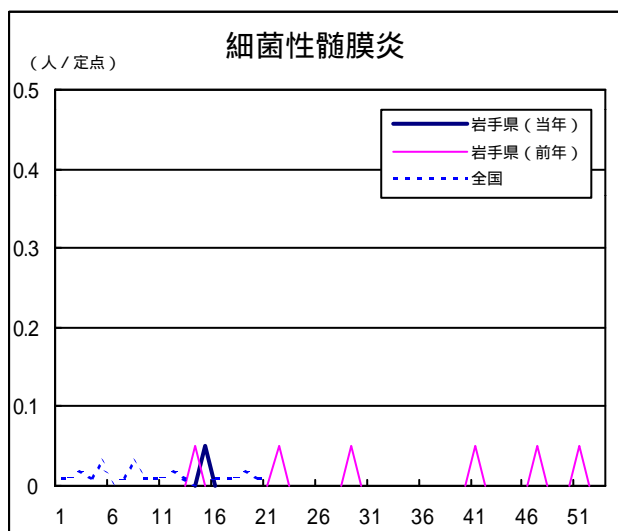
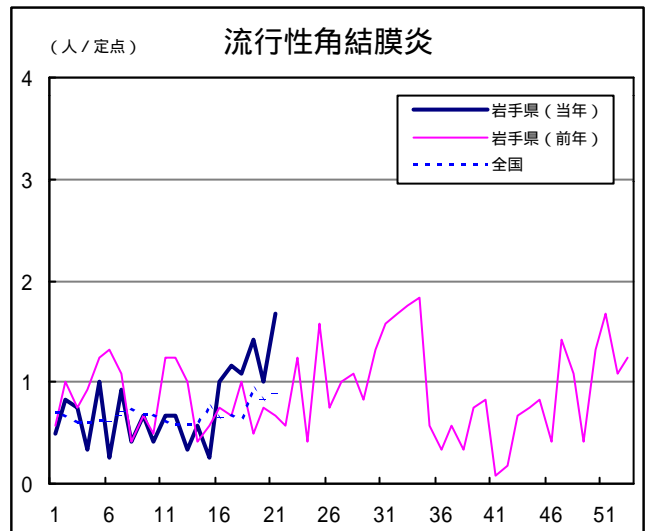
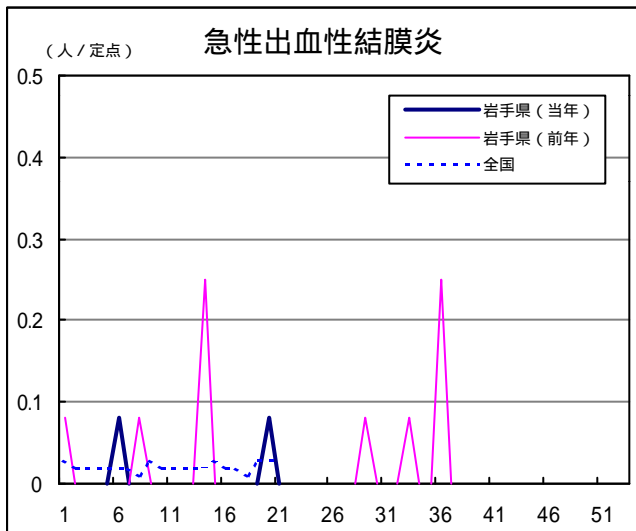
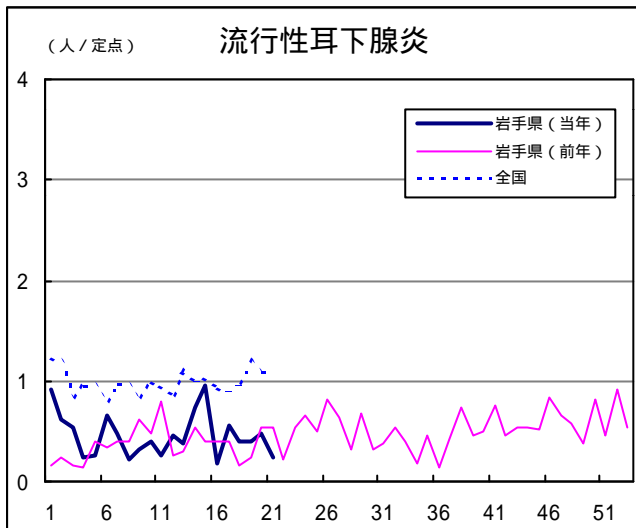
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

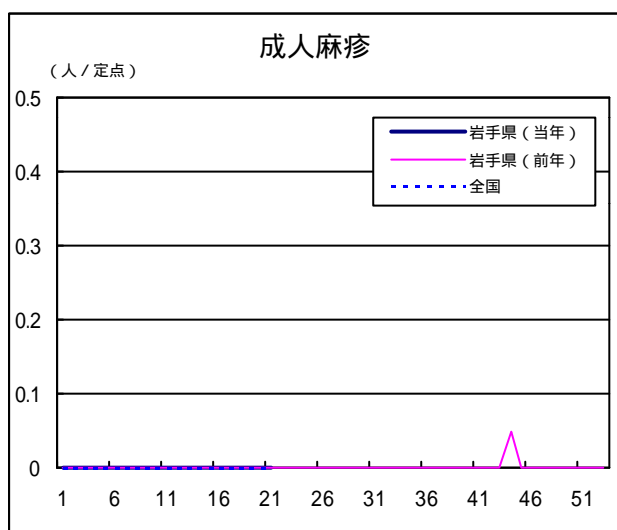
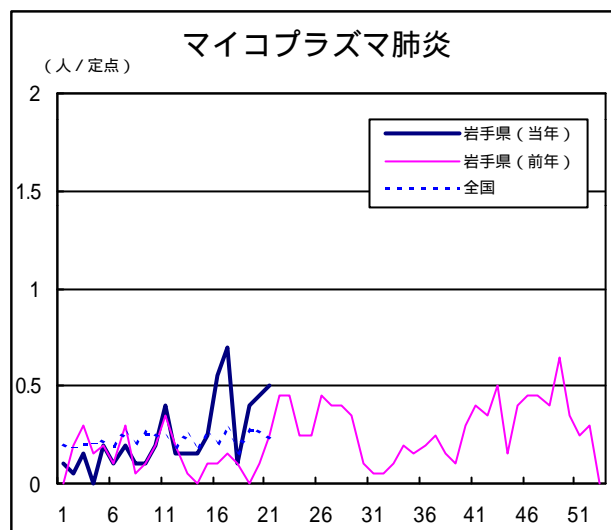
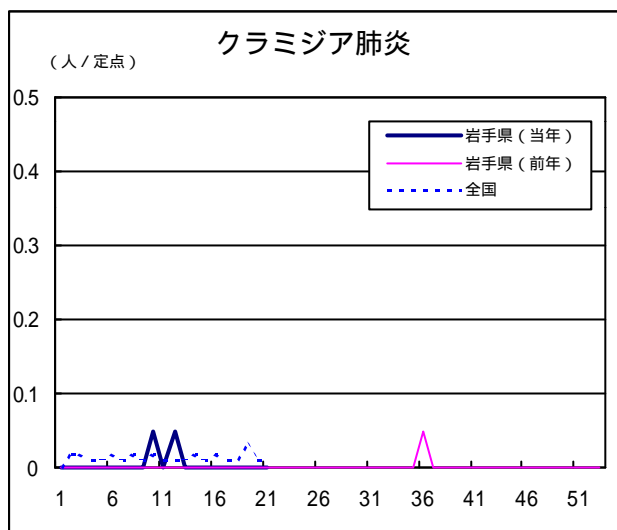
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第21週 平成17年6月3日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>